

世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）

<愛称：しあわせのしずく>

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、トータル・リターン・スワップ等を活用することで、主に日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国の不動産投資信託証券（リート）の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定したリターンの獲得をめざします。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2026年1月14日～2026年7月13日

第70期	決算日：2026年2月12日	
第71期	決算日：2026年3月11日	
第72期	決算日：2026年4月13日	
第73期	決算日：2026年5月11日	
第74期	決算日：2026年6月11日	
第75期	決算日：2026年7月13日	
第75期末 (2026年7月13日)	基 準 価 額	6,984円
	純資産総額	1,633百万円
第70期～ 第75期	騰 落 率	△1.0%
	分配金合計	180円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

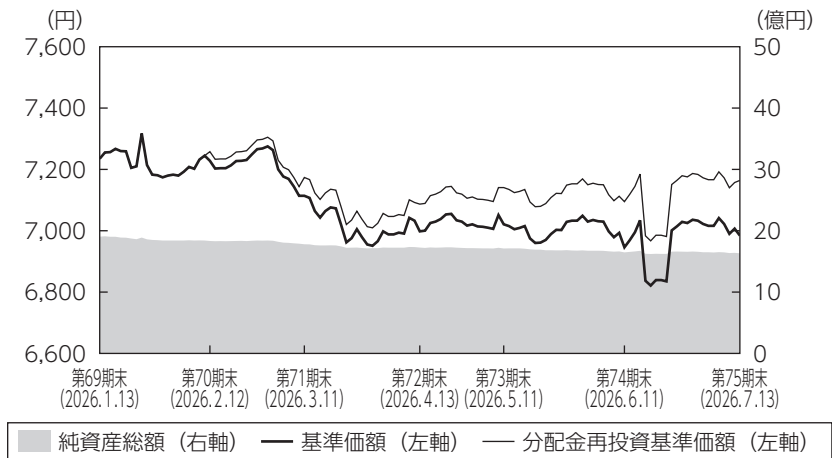
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

債券市場は、国内市場では日銀の利上げや財政拡張観測などから金利が上昇（価格は下落）し、海外市場でも、米国の利下げ観測後退や欧州における期後半の利上げ観測、中東情勢による原油高などを受けて主要先進国金利が上昇（価格は下落）しました。株式市場は、高市政権の財政拡張期待やAI関連投資の加速期待を受け、国内・主要外国市場ともに上昇しました。当ファンドは、先進国債券がマイナス寄与したことなどから、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	△0.7%
D I A Mマネーマザーファンド	0.4%

- (注) One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第70期～第75期 (2026年1月14日 ～2026年7月13日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	22円	0.309%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,074円です。
(投信会社)	(8)	(0.114)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(13)	(0.179)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	22	0.310	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

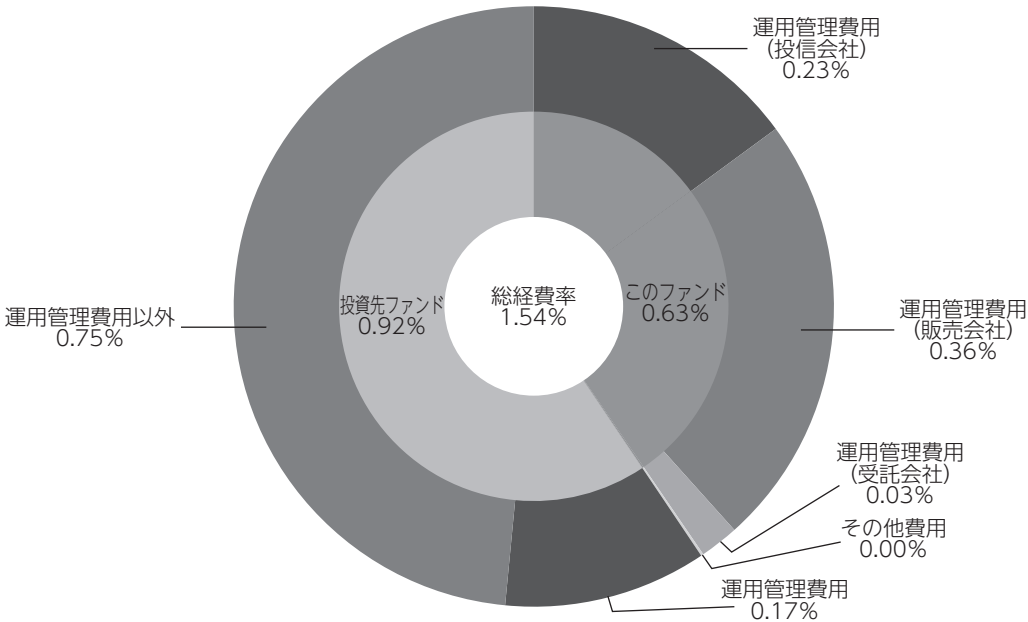
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.54%です。



総経費率（①+②+③）	1.54%
①このファンドの費用の比率	0.63%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.17%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.75%

(注 1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。なお、投資先ファンドで行われるトータル・リターン・スワップに関連する費用は、総経費率の計算に含まれておりません。当該費用は、スワップ取引の日々の評価額から差し引かれ、基準価額に反映されています。上記の総経費率に関しては、投資先ファンドも含め入手し得る情報において作成、計算されたものです。

(注 3) 各比率は、年率換算した値です。

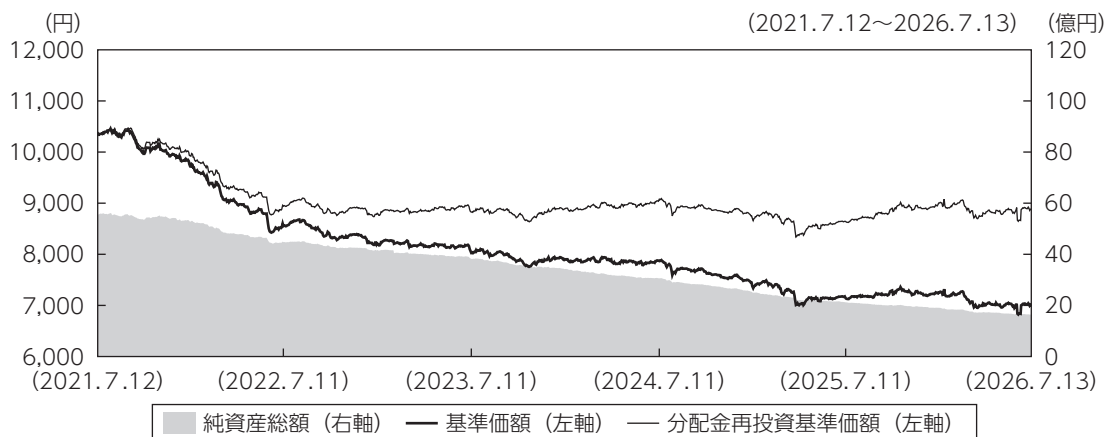
(注 4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注 5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注 6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注 7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2021年7月12日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2021年7月12日 期首	2022年7月11日 決算日	2023年7月11日 決算日	2024年7月11日 決算日	2025年7月11日 決算日	2026年7月13日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,321	8,553	8,023	7,874	7,141	6,984
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	420	420	370	360	360
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△13.4	△1.3	2.8	△4.8	2.9
純資産総額	(百万円)	5,560	4,468	3,814	3,056	2,116	1,633

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

債券市場は、国内市場では日銀の利上げや財政拡張観測などから金利が上昇（価格は下落）し、海外市場でも、米国の利下げ観測後退や欧州における期後半の利上げ観測、中東情勢による原油高などを受けて主要先進国金利が上昇（価格は下落）しました。株式市場は、高市政権の財政拡張期待やA I 関連投資の加速期待を受け、国内・主要外国市場ともに上昇しました。

ドル／円相場は、積極財政政策に伴う国債増発への懸念や日銀による追加利上げ時期の不透明感を背景に円売りが進んだことに加え、F R B（米連邦準備理事会）が政策金利を据え置き、追加利下げを見送る方針を示したことで日米金利差が維持されたことなどを背景に、前期末対比で円安ドル高となりました。ユーロ／円相場は、E C B（欧州中央銀行）が複数回の利上げを実施したものの、前期末対比で概ね横ばいとなりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.7%程度で始まりましたが、日銀が2026年6月に政策金利を引き上げたことから、当期末にかけて同利回りは上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持し、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

【基本配分戦略（月次）】

各投資対象に関する基本配分比率を月次で決定し、リバランスを行いました。期を通じ、安定資産へ45%～55%程度、リスク性資産へ35%～45%程度配分しました。

【機動的配分戦略（日次）】

今期において、リスク性資産と外国債券については3月下旬から4月中旬にかけて、国内債券については5月中旬から6月中旬にかけて、それぞれ機動的配分戦略に基づき現金等の配分を高める運用を行いました。

●D I AMマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては分配方針を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
	2026年1月14日 ～2026年2月12日	2026年2月13日 ～2026年3月11日	2026年3月12日 ～2026年4月13日	2026年4月14日 ～2026年5月11日	2026年5月12日 ～2026年6月11日	2026年6月12日 ～2026年7月13日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.41%	0.42%	0.43%	0.43%	0.43%	0.43%
当期の収益	30円	30円	30円	30円	30円	30円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	875円	879円	883円	888円	892円	898円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドでは引き続きOne ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドを組入れることを基本とした運用を行い、中長期的な信託財産の成長を目指します。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

月次戦略及び日次戦略に基づき、各投資対象の組入比率を定め、安定した収益の獲得を目指します。

●D I A Mマネーマザーファンド

日銀は2026年6月の金融政策決定会合で、政策金利を1.0%に引き上げました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米で見られた形の急激な金利引き上げは回避すると想定されます。そのため、今後も公社債等への投資を通じ、安定的な運用を目指します。

お知らせ

約款変更のお知らせ

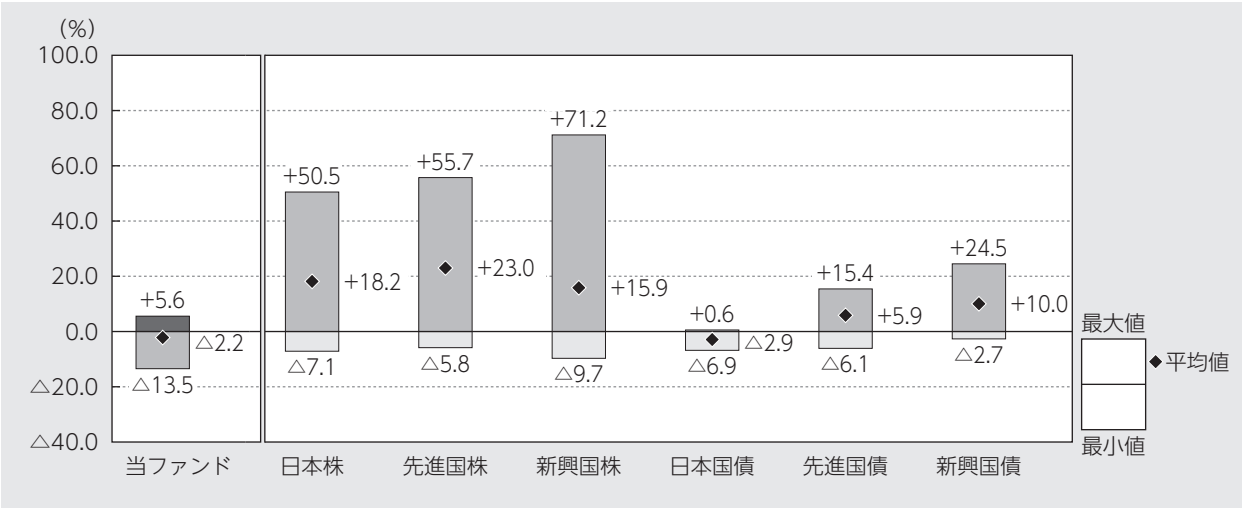
■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「D I A Mマネーマザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

(2026年4月1日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2020年3月27日から2030年7月11日までです。	
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて得られる収益の獲得および外国投資信託における毎月の分配実施 [*] による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。 ※実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。	
主要投資対象	世 界 8 資 産 リ ス ク 分 散 バランスファンド (目標払出し型)	主として、以下の投資信託証券に投資します。 ・ One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド円建受益証券 (以下、「バランス・ファンド」といいます。) ・ D I A M マネーマザーファンド受益証券
	One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	・ 実質的な投資対象は、日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国のリートなどです。 ・ トータル・リターン・スワップを通じて、実質的に有価証券先物取引、E T F 等に投資を行います。 ・ 有価証券先物取引や E T F への直接投資を行う場合があります。
	D I A M マネーマザーファンド	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびに C D、C P、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
運 用 方 法	バランス・ファンドでは、トータル・リターン・スワップ等を活用することで、主に日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国の不動産投資信託証券 (リート) の 8 資産に分散投資を行い、中長期的に安定したリターンの獲得をめざします。 基準価額の変動リスクを年率 4 % 程度[*]に抑えながら、中長期的に安定的な運用をめざします。 ※上記数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれを約束するものではありません。また、上記数値は当ファンドの長期的なリスク水準の目標を表すものであり、当ファンドが年率 4 % 程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。上記数値が達成されるかどうかを問わず、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 1 万口当たりの基準価額 (過去に支払った収益分配金の金額は含みません。) が 2,000 円を下回った場合には、投資対象とする投資信託証券の売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。	
分 配 方 針	毎決算時 (原則として毎月 11 日。休業日の場合は翌営業日。) に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 ② 分配金額は、委託者がバランス・ファンドの分配金を原資として、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。分配金は投資収益にかかわらず、委託者があらかじめ定める目標分配水準に応じて支払うことをめざします。結果として、この投資信託から分配される分配金額の一部または全部が、実質的な投資元本の払い戻しにより行われることがあります。 また、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 ※第 1 期 (2020 年 5 月 11 日) の決算は収益分配を行いません。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年7月～2026年6月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2026年7月13日現在）

◆組入ファンド等

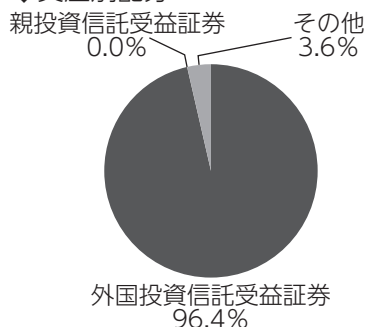
（組入ファンド数：2ファンド）

	第75期末
	2026年7月13日
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	96.4%
D I AMマネーマザーファンド	0.0
その他	3.6

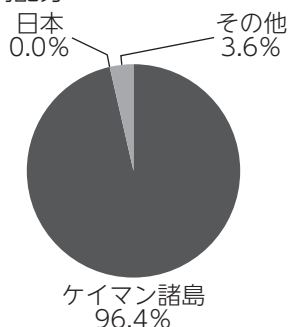
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

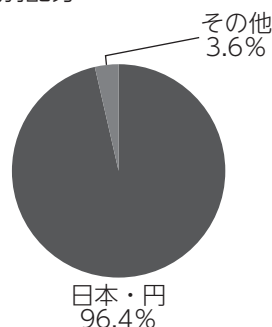
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

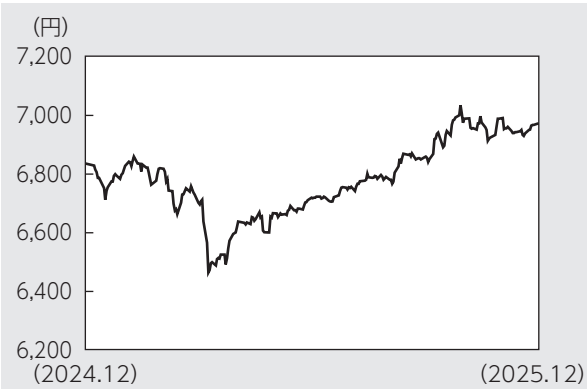
項目	第70期末	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末
	2026年2月12日	2026年3月11日	2026年4月13日	2026年5月11日	2026年6月11日	2026年7月13日
純資産総額	1,832,996,258円	1,779,214,290円	1,725,536,140円	1,709,598,192円	1,646,885,051円	1,633,041,624円
受益権総口数	2,535,956,860口	2,501,085,270口	2,465,651,455口	2,435,087,369口	2,371,147,497口	2,338,315,628口
1万口当たり基準価額	7,228円	7,114円	6,998円	7,021円	6,946円	6,984円

（注）当作成期間（第70期～第75期）中における追加設定元本額は58,593,584円、同解約元本額は351,593,871円です。

組入ファンドの概要

【One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド】（計算期間 2024年12月31日～2025年12月30日）

◆基準価額の推移



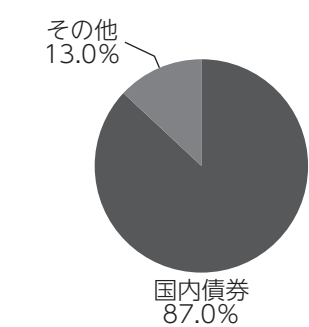
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
日本国庫短期証券 0.59% 03/23/26	日本・円	87.0%
店頭トータル・リターン・スワップ	日本・円	0.3
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	2 銘柄	

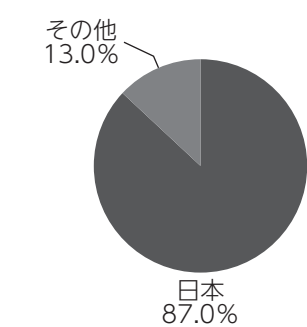
◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

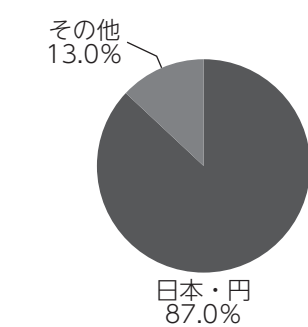
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はOne ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの計算期間のものです。また、当期における分配金を再投資したものととしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。

(注3) 比率は、One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

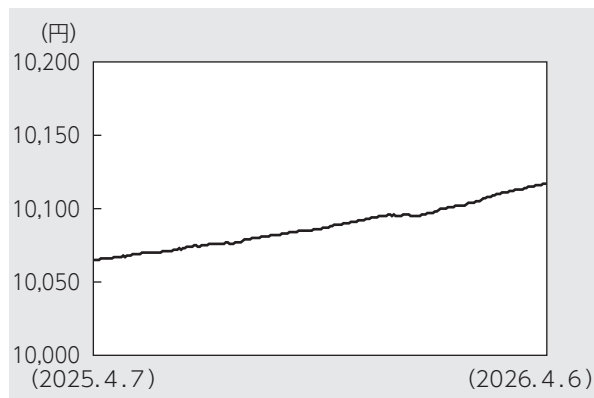
(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 資産別配分、国別配分、通貨別配分には店頭トータル・リターン・スワップは含みません。

(注6) 組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【D I AMマネーマザーファンド】（計算期間 2025年4月8日～2026年4月6日）

◆基準価額の推移



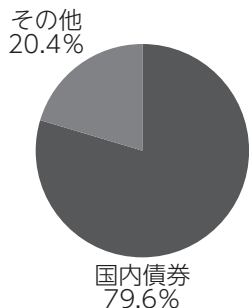
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1371回 国庫短期証券	日本・円	13.7%
1365回 国庫短期証券	日本・円	9.1
1368回 国庫短期証券	日本・円	9.1
1345回 国庫短期証券	日本・円	9.1
1300回 国庫短期証券	日本・円	4.6
460回 利付国庫債券（2年）	日本・円	4.6
1358回 国庫短期証券	日本・円	4.6
1362回 国庫短期証券	日本・円	4.6
1366回 国庫短期証券	日本・円	4.6
1313回 国庫短期証券	日本・円	4.6
組入銘柄数	13銘柄	

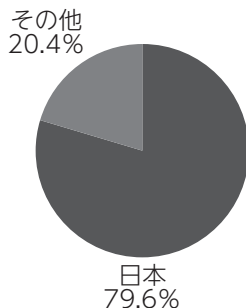
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

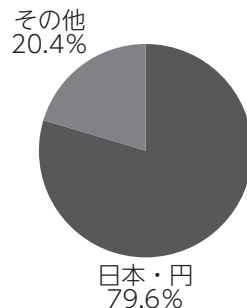
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

